



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 丸順
コード番号 3422 URL <http://www.maruiun.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今川 喜章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 小高 光一

TEL 0584-89-8181

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	39,529	45.1	864	—	730	—	492	—
24年3月期第3四半期	27,245	△17.7	△83	—	△336	—	△878	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 781百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △1,294百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	50.40	—
24年3月期第3四半期	△89.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
25年3月期第3四半期	37,089		7,738		13.7
24年3月期	30,399		6,775		14.6

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 5,067百万円 24年3月期 4,436百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	2.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	39.4	750	—	550	—	300	—	30.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) Indiana Marujun Corporation 、除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	9,771,000 株	24年3月期	9,771,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	4,855 株	24年3月期	4,855 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	9,766,145 株	24年3月期3Q	9,766,145 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧米の先進国では財政不安問題によって景気が減速しており、新興国でも成長が鈍化し始めるなど、不安定な状態で推移しました。また、日本国内では東日本大震災の復興需要により内需は拡大したものの、世界経済の減速を背景に停滞傾向が続きました。

当社グループが属する自動車業界においては、海外では、北米地域やアジア新興国を中心に市場の回復や成長が見られるものの、世界最大の自動車市場を持つ中国では、日中関係の悪化により日系自動車メーカーの販売台数が落ち込む状況となりました。日本国内では年度前半に実施されたエコカー補助金制度が需要を喚起したものの、制度終了後の反動で一時販売台数が落ち込むなど、依然として厳しい環境が続いております。また、衝突安全性能や地球環境問題といった自動車業界に対する社会的な要求は高まり続けており、対処すべき課題は年々増え続けております。

このような状況のもと、当社グループは第5次中期経営計画の施策として、ボトム生産体質の構築をはじめとする様々な施策に取組み、生産体質の強化を図ってまいりました。また、海外ではタイ・マルジュン社で洪水被災からの復興として、サラブリ県ノンケイ工業団地に高い生産効率をコンセプトとした新工場の建設を開始したほか、北米のインディアナ・マルジュン社を子会社化し、同地域における当社初の部品生産拠点を設けるなど、グローバル事業の拡大展開に取組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は39,529百万円(前年同四半期比45.1%増)、営業利益は864百万円(前年同四半期は83百万円の営業損失)、経常利益は730百万円(前年同四半期は336百万円の経常損失)となり、四半期純利益は492百万円(前年同四半期は878百万円の四半期純損失)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(丸順)

丸順においては、当社のメイン商品である車体プレス部品ではエコカー補助金制度の実施による需要増加に支えられ生産が好調に推移し、大幅に増産いたしました。また、金型では新機種用設備の販売が増加したため、全体で好調に推移いたしました。

売上高は13,415百万円(前年同四半期比10.4%増)、経常利益は680百万円(前年同四半期は30百万円の経常損失)となりました。

(タイ)

タイにおいては、平成23年10月のタイ洪水で浸水被害を受けた当社工場の操業を平成24年3月より再開した後、主要取引先からの増産要求に応えるべく生産体制の立て直しを図ってまいりました。また、サラブリ県ノンケイ工業団地に高い生産効率をコンセプトとした新工場の建設を開始するなど、災害によって悪化した業績の正常化を目指してまいりました。

売上高は6,137百万円(前年同四半期比6.5%増)、経常損失は280百万円(前年同四半期は450百万円の経常損失)となりました。

(広州)

広州においては、平成23年3月の東日本大震災以降、部品供給難に起因していた生産の停滞が解消され業績は回復傾向にありました。しかしながら、平成24年9月以降は政治的要因により日中関係が悪化したことで日系自動車メーカーの販売が一時低迷するなど、一転厳しい状況で推移いたしました。

売上高は6,773百万円(前年同四半期比7.1%増)、経常利益は267百万円(前年同四半期比105.2%増)となりました。

(武漢)

武漢においては、主要取引先の増産に追従し生産能力の拡大を実施したほか、原材料費の削減をはじめとする徹底した原価低減活動に取り組んだことにより売上高、利益ともに増加いたしました。

売上高は3,442百万円(前年同四半期比10.9%増)、経常利益は325百万円(前年同四半期比274.0%増)となりました。

(インディアナ)

インディアナにおいては、平成24年6月の子会社化以降、当社より新たに駐在員を派遣し、生産及び人員効率の向上や、当社グループの生産体質の浸透を図るなど、様々な取り組みを行ってまいりました。しかしながら、新機種立ち上がりに伴う費用の増加等により、利益は厳しい状況で推移いたしました。

売上高は9,782百万円、経常損失は247百万円となりました。

(四輪販売)

四輪販売においては、新車販売はエコカー補助金制度の実施や販売促進活動の強化により好調に推移いたしました。また、中古車販売、保険及びサービスも堅調に推移し、全体として売上高、経常利益ともに前年を上回る状況となりました。

売上高は1,988百万円(前年同四半期比40.1%増)、経常利益は19百万円(前年同四半期は23百万円の経常損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当社グループの当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、37,089百万円となり、前連結会計年度末と比較し、6,690百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が532百万円減少、受取手形及び売掛金が1,763百万円増加、仕掛品が152百万円増加、原材料及び貯蔵品が770百万円増加、有形固定資産が3,692百万円増加したことが要因であります。

負債総額は29,350百万円となり、前連結会計年度末と比較し、5,726百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,403百万円増加、短期借入金が297百万円増加、長期借入金2,704百万円増加、リース債務が352百万円増加したことが要因であります。

なお、このうち受取手形及び売掛金1,134百万円、仕掛品203百万円、原材料及び貯蔵品601百万円、有形固定資産3,053百万円、支払手形及び買掛金1,890百万円、短期借入金445百万円、長期借入金1,928百万円及びリース債務104百万円は、インディアナ・マルジュン社の新規連結に伴う増加であります。

純資産は7,738百万円となり、前連結会計年度末と比較し、963百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が470百万円増加、為替換算調整勘定が87百万円増加したことが要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

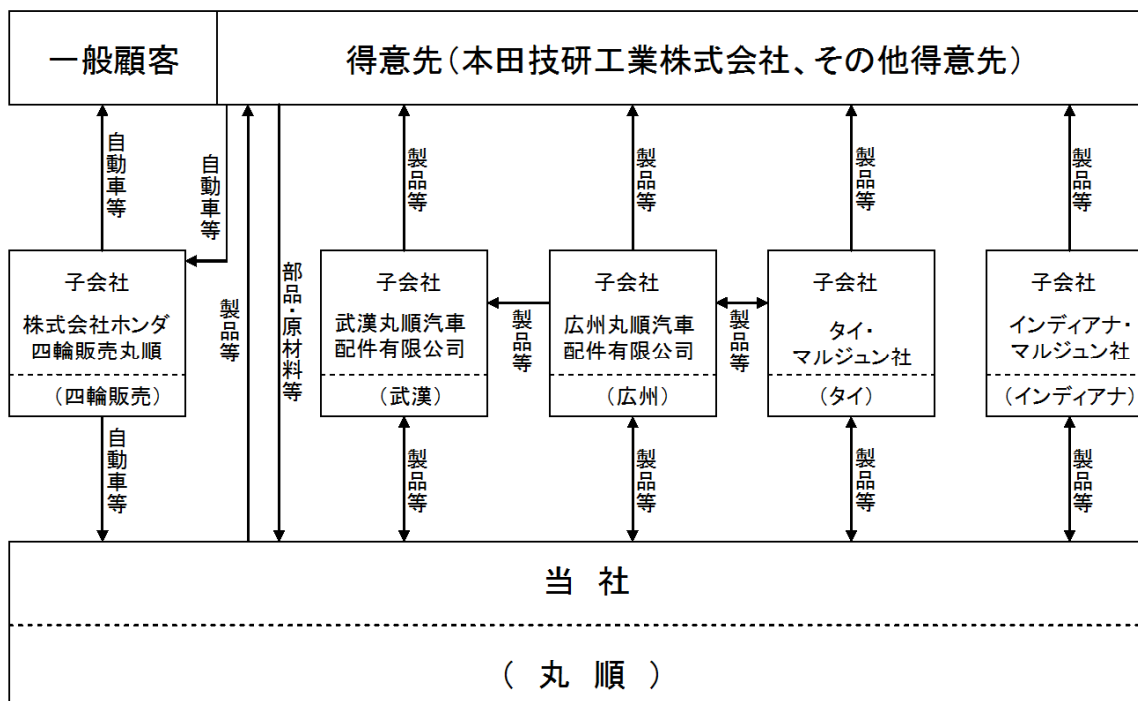
当社グループは、中国における日系自動車関連企業を中心とした生産減少の影響や、北米地域における新機種立上げによる原価高などの結果、業績が予想を下回る見通しとなりましたので、平成25年3月期の通期業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、平成25年1月31日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成24年6月13日付でIndiana Marujun Corporation(インディアナ・マルジュン社)の株式を追加して取得し、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。



(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社において、従来、有形固定資産(建物、工具器具及び備品のうち金型、並びにリース資産を除く)の減価償却の方法について主に定率法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法によることとしました。

当連結会計年度において、当社製品の主要取引先の生産戦略の見直しを受け、当社において生産設備の汎用化及び生産の平準化が進められる結果、有形固定資産(建物、工具器具及び備品のうち金型、並びにリース資産を除く)は、新機種立ち上り時に生産設備の稼働が高く年数の経過とともに減少する傾向から、中長期的に安定して使用されることとなるため定額法へ変更しました。

これにより、従来の方法と比較して、当第3四半期連結累計期間の減価償却費は121百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ118百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,202	1,669
受取手形及び売掛金	5,785	7,548
商品及び製品	330	456
仕掛品	997	1,149
原材料及び貯蔵品	490	1,261
その他	996	1,646
貸倒引当金	△1	△14
流動資産合計	10,802	13,718
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,861	5,559
機械装置及び運搬具(純額)	4,055	5,302
工具、器具及び備品(純額)	3,606	4,542
土地	1,882	2,053
リース資産(純額)	859	1,293
建設仮勘定	2,195	2,403
有形固定資産合計	17,461	21,153
無形固定資産	111	154
投資その他の資産		
その他	2,040	2,079
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	2,023	2,062
固定資産合計	19,596	23,371
資産合計	30,399	37,089

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,554	6,957
短期借入金	7,449	7,747
リース債務	331	322
未払法人税等	79	77
賞与引当金	206	152
その他	1,609	2,333
流動負債合計	15,230	17,591
固定負債		
長期借入金	6,704	9,409
リース債務	292	653
退職給付引当金	856	925
資産除去債務	82	83
負ののれん	16	9
その他	441	677
固定負債合計	8,394	11,759
負債合計	23,624	29,350
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,037	1,037
資本剰余金	935	935
利益剰余金	3,221	3,692
自己株式	△2	△2
株主資本合計	5,192	5,663
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	514	586
為替換算調整勘定	△1,270	△1,183
その他の包括利益累計額合計	△755	△596
少数株主持分	2,338	2,671
純資産合計	6,775	7,738
負債純資産合計	30,399	37,089

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	27,245	39,529
売上原価	24,739	35,195
売上総利益	2,505	4,333
販売費及び一般管理費	2,588	3,468
営業利益又は営業損失(△)	△83	864
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	19	22
為替差益	—	76
助成金収入	73	65
その他	47	37
営業外収益合計	145	209
営業外費用		
支払利息	293	323
為替差損	79	—
その他	25	19
営業外費用合計	399	343
経常利益又は経常損失(△)	△336	730
特別利益		
固定資産売却益	2	13
受取保険金	—	1,418
特別利益合計	2	1,432
特別損失		
固定資産売却損	—	2
固定資産廃棄損	23	520
減損損失	—	462
災害による損失	79	—
段階取得に係る差損	—	128
投資有価証券評価損	186	0
その他	—	64
特別損失合計	289	1,178
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△623	983
法人税等	249	371
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△873	612
少数株主利益	4	119
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△878	492

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△873	612
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△110	72
為替換算調整勘定	△311	97
その他の包括利益合計	△421	169
四半期包括利益	△1,294	781
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,228	651
少数株主に係る四半期包括利益	△66	129

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	丸順	タイ	広州	武漢	四輪販売	
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	10,877	5,746	6,101	3,104	1,415	27,245
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,275	18	222	0	4	1,521
計	12,152	5,765	6,324	3,104	1,419	28,766
セグメント利益又は損失(△)	△30	△450	130	87	△23	△286

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△286
セグメント間取引消去	188
子会社配当金	△266
その他の調整額	27
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△336

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

(セグメントの概要)

当社グループは、会社別を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、会社別に「丸順」(当社)、「タイ」(タイ・マルジュン社)、「広州」(広州丸順汽车配件有限公司)、「武漢」(武漢丸順汽车配件有限公司)、「インディアナ」(インディアナ・マルジュン社)、「四輪販売」(株式会社ホンダ四輪販売丸順)の6つのセグメント情報の区分により事業活動を展開しております。

なお、「インディアナ」(インディアナ・マルジュン社)は、第1四半期連結会計期間から連結の範囲に含め、報告セグメントに追加しております。

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	丸順	タイ	広州	武漢	インディアナ	四輪販売	
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	11,922	6,077	6,320	3,441	9,782	1,985	39,529
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,493	60	453	0	0	3	2,010
計	13,415	6,137	6,773	3,442	9,782	1,988	41,539
セグメント利益又は損失(△)	680	△280	267	325	△247	19	764

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	764
セグメント間取引消去	70
子会社配当金	△132
その他の調整額	28
四半期連結損益計算書の経常利益	730

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「タイ」セグメントにおいて、新工場への移転に伴い使用が見込まれず遊休資産となる土地及び建物等について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において462百万円であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社及び国内連結子会社は、従来、有形固定資産(建物、工具器具及び備品のうち金型、並びにリース資産を除く)の減価償却の方法について主に定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法によることといたしました。

この結果、従来の方法と比較して、当第3四半期連結累計期間の減価償却費は丸順で118百万円、四輪販売で3百万円減少し、セグメント利益がそれぞれ丸順で114百万円、四輪販売で3百万円増加しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

該当事項はありません。